

70 代無職／飲酒

今回、なぜ運転免許証が取消しになったのかというと、普段は外に出るのも億劫で、外で飲食すること自体少なかった。酒の飲めない友達が車で迎えに来てくれた時は、一緒に外で飲酒することもあった。その友達と一緒に出掛け、飲酒した日の夜、もう明け方に近かったかもしれないが、職場から仕事の呼び出しがあった。

「昨晚飲んだが、もう大丈夫だろう。時間も経っているし。」

と軽い気持ちで車を運転、職場に向かう途中の交差点で信号待ちしている際、よそ見してしまい足がブレーキから離れ、前車に追突するという交通事故を起こしてしまった。相手の車の方が「首が痛い」と言ってきて、現場に来た警察官に飲酒検査を受け、飲酒運転での人身交通事故となってしまった。

この事故で運転免許が取消しになって、茨城県での生活は本当に人生が変わるくらいの不便さを感じた。当然、仕事も辞めさせられ、日常生活が大きく変わってしまった。趣味や生きる目的などの全てに影響が出た。また、家族や親戚などにも大変な迷惑を掛け、職場の為に行った運転とはいえ、結局は職場に迷惑を掛けることとなった。

この時、母親には介護が必要だったにも拘わらず、その介護もできずに母親は亡くなった。運転免許証が無くなってしまって、母親の死に目にも立ち会えなかった。

私がこの取消処分者講習を受け、新たに運転免許証の取得しようと思ったのは、

「このままではいけない。家に閉じこもっては 80 歳までも生きられない」

と思ったからだ。外に出るためにも運転免許証が必要だった。また、昔から旅行が好きで、日本全国すべての県に行ってみたいと思いもあったし、生きるために運転免許証が必要だと感じた。

今回の取消処分者講習を受け、改めて「自分の性格の弱さ」を痛感した。また、講師の先生方は昔と違い、親切で一生懸命、本当に感謝しかなく、有り難く思った。

今後は、迷惑をかけていた親戚や友人などの足になって恩返しをしたい。また、車でできる様な簡単なバイトでもやりたい。「生きるため」に前向きに活動しようと思う。